

ハイブリッド車を導入

ジャスト 燃費目標で「コスト意識高める」

ハイブリッド車2台を導入した。

ジャスト（藤井勝継社長、大阪府東大阪市）は平成21年にグリーン小型車を合わせて20台を保有しているが、昨年はデジタルコントローラーを全車に装備し、ハイブリッド車2台を導入した。

月ごとに各ドライバーが目標を立て、1か月の走行距離、給油量を集計し燃費を計算することで、コスト意識に取り組み、燃費管理にデジタルコントローラーを入れる燃費管理にデジタルコントローラーを入れることで無事故にもつながる」と藤井社長。11月に導入したハイブリッド車は3t積み、パワーゲート車。

車両価格は助成金があり、一般車と変わらず、ハンドルは高くなかつた。「社会に向けて環境対策を広くアピールする目的もあり導入した。燃費が良くて燃料高騰対策にもなる。蓄熱マットにリアタイヤ、リトレッドのエコタイヤを装着し、事務所にもLED照明を取り入れ、環境対策を着実に進めている。

